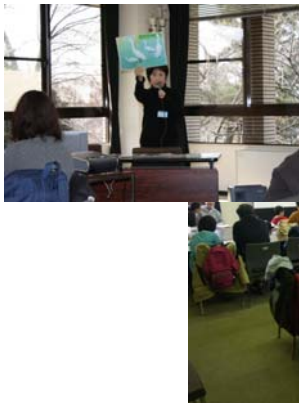


“鴨川”の魅力を再発見し、川への理解を深め、河川愛護や自然環境保全への関心を広げるために企画した“鴨川探検！再発見！”のシリーズ第14弾「水辺の野鳥観察会」を開催しました。

鴨川に飛来する野鳥たちについて、はじめに勉強し、それから鴨川の河原で、望遠鏡などを使い実際に野鳥を観察しました。最後は、本物の標本に触れ、羽の色や軽さ、近くで見るとの大きさなど、貴重な体験ができました。

子供たちからは、野鳥たちのために、鴨川を大事に！きれいに！といった声もあり、野鳥観察を通じて、自然の大切さを改めて感じることができたようです。



●事前の学習  
(京都土木事務所にて)



観察できた野鳥（その他、セキレイやカワウなど全部で24種類を確認しました。）

野鳥ってなに？みんな熱心に聞いてくれました

●野鳥観察会 (北山大橋周辺にて)



天気も良く、たくさんの野鳥を観察することができました。

●まとめ (京都土木事務所にて)



観察できた野鳥はどれかな？

標本を“見て、さわって”どうだったかな？

日時 平成21年2月15日 日曜日 午前10時から12時まで (天候 晴れ)  
 場所 北山大橋周辺の鴨川、京都土木事務所 (事前説明、まとめなど)  
 参加者 子ども (小学生) 16名、保護者14名の計30名  
 (講師：日本野鳥の会京都支部)